

コベルコ建機

適用範囲		モデル名		SK10SR-3 後方小旋回	SK17SR-5 後方小旋回	SK20SR-5V 後方小旋回	SK20UR-6 超小旋回	SK28SR-6 後方小旋回
		適用号機		PA04-1000~	PU10-20000~	PM11-20000~	PB05-2201~	PD03-05001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	min ⁻¹	2160±25	2350±25	2570±25	2375±25	2570±25
		ローアイドリング (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ (°C) (°C)	1250±25 60~90 (50±5)	1225±25 60~90 (50)	1200±25 60~90 (50)	1250±25 60~90 (50)	1450±25 60~90 (50)
	弁隙間	吸気弁隙間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05
		排気弁隙間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05
		(測定条件)	()	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
ン	燃料装置	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	MPa kg/cm ²	3.20 33	3.20 33	3.40 33	3.45±0.1 25	3.16±0.1 25
		(冷却水温) (回転速度)	(°C) (min ⁻¹)	60~90 250	60~90 250	60~90 250	60~90 250	60~90 250
	冷却装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa kg/cm ²	12.3 125	13.7 140	19.6 200	19.6 200	—
		ファン駆動ベルトの張り	mm	8~10	8~10	8~10	8~10	8~10
		測定位置・条件 (kgとNの両方で表記)		ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)
走行性能	最高速度	ゴム	S	13.7	15.7	18.8	18.8	18.8
		鉄		16.1	19.3	19.3	19.3	19.3
		(測定方法・条件)		クローラ5回転 高速モード 図-01	クローラ5回転 高速モード 図-01	クローラ5回転 高速モード 図-01	クローラ5回転 高速モード 図-01	クローラ5回転 高速モード 図-01
履帯 (クローラ ベルト)	張り(たわみ量)	ゴム	mm	60~70	45~50	80~90	80~90	70~80
		測定方法・条件 (図面番号表示)		図-02	図-02	図-02	図-02	図-02
	鉄	張り(たわみ量)	mm	75~80	75~80	90~95	75~80	110~120
		測定方法・条件 (図面番号表示)		図-02	図-02	図-02	図-02	図-02
リンク	リンクピッチの伸び	mm	—	90~95	115~130	115~130	105~130	
	測定方法・条件		—	1リンクピン 間距離	1リンクピン 間距離	1リンクピン 間距離	1リンクピン 間距離	
履板	履板取付けボルト 締めトルク	N・m kg・m	—	—	—	—	—	
	測定方法・条件		—	—	—	—	—	

★印：新車基準値を表す。

SK30SR-6 後方小旋回	SK30UR-6 超小旋回	SK35SR-6 後方小旋回	SK38UR-6 超小旋回	SK45SR-6 後方小旋回	SK50UR-6E 超小旋回	SK55SR-6E 後方小旋回		
PW15-50001~	PR09-20001~	PX16-30001~	PQ03-01001~	PH08-10001~	YJ08-20001~	PS04-10001~		
検査基準値								
2570±25	2570±25	2570±25	2570±25	2590±25	2430±10	2430±10		
1450±25 (60~90) (50)	1450±25 (60~90) (50)	1450±25 (60~90) (50)	1450±25 (60~90) (50)	1290±25 (60~90) (50)	1150±10 (60~90) (50)	1150±10 (60~90) (50)		
0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05		
0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05		
(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)		
3.16±0.1 25	3.16±0.1 25	3.16±0.1 25	3.16±0.1 25	3.43±0.1 25	3.43±0.1 25	3.43±0.1 25		
60~90 250	60~90 250	60~90 250	60~90 250	60~90 250	60~90 250	60~90 250		
—	—	—	—	—	—	—		
8~10	8~10	8~10	8~10	8~10	8~10	8~10		
ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)		
18.9 19.3 クローラ5回転 高速モード 図-01	18.9 19.3 クローラ5回転 高速モード 図-01	18.9 19.3 クローラ5回転 高速モード 図-01	18.9 19.3 クローラ5回転 高速モード 図-01	21.9 20.5 クローラ5回転 高速モード 図-01	22.5 22.4 クローラ5回転 高速モード 図-01	23.5 21.9 クローラ5回転 高速モード 図-01		
70~80	70~80	70~80	70~80	80~90	80~90	80~90		
図-02	図-02	図-02	図-02	図-02	図-02	図-02		
115~130	115~130	115~130	118~128	130~150	130~150	130~150		
図-02	図-02	図-02	図-02	図-02	図-02	図-02		
105	105	105	105.0	135	135	135		
1リンクピン 間距離	1リンクピン 間距離	1リンクピン 間距離	1リンクピン 間距離	1リンクピン 間距離	1リンクピン 間距離	1リンクピン 間距離		

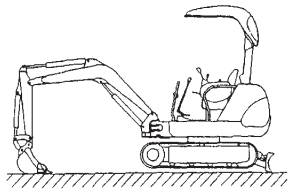
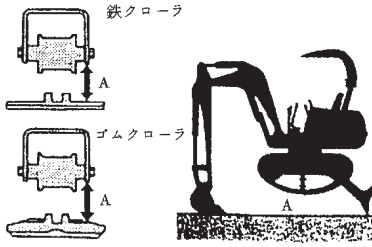
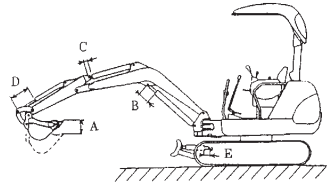
コベルコ建機

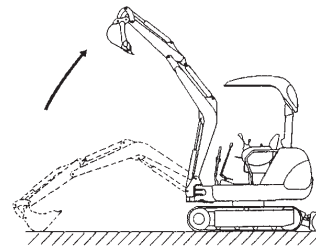
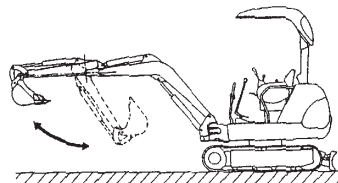
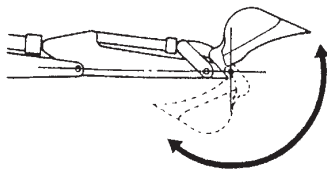
適用範囲		モデル名		SK10SR-3	SK17SR-5	SK20SR-5V	SK20UR-6	SK28SR-6
		適用号機		後方小旋回	後方小旋回	後方小旋回	超小旋回	後方小旋回
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	作業機 自然降下	バケット先端位置	mm	222	140	150	140	150
		(測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	(min) (°C)	18 50	10 50	12 50	12 50	12 50
	シリンダー 自然伸縮	ブームシリンダー 標準/クレーン 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm	18	10	12	12	12
		アームシリンダー 標準/クレーン 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm	12	7	5	5	5
		バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm	4	4	4	4	4
		ブレードシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) (作動油温)	mm (°C)	3 50	3 50	3 50	3 50	3 50
	作業機速度	ブーム上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	2.5±0.4	2.3±0.3	2.2±0.4	2.2±0.4	2.5±0.4
			(図面番号表示)	図-04	図-04	図-04	図-04	図-04
		アームシリンダー伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	3.7±0.5	2.7±0.4	2.4±0.4	2.4±0.4	2.9±0.4
			S	2.4±0.3	2.1±0.4	1.5±0.4	1.5±0.4	2.0±0.4
バケットシリンダー伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)		S	2.5±0.4	2.7±0.4	2.4±0.4	2.8±0.4	2.8±0.4	
		S	1.8±0.3	1.8±0.4	1.4±0.4	1.9±0.4	1.9±0.4	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	MPa	20.6	21.6	23.0	23.0	23.0
		性能測定条件 (設定モード等)	kg/cm ²	210	220	235	235	235
動力伝達装置	旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	アウトナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N・m	—	—	—	—	—
		kg・m	—	—	—	—	—	
		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N・m	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0
	旋回減速機の 取付けボルト 締付け	油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	N・m	65.7	115.0	115.0	115.0	115.0
		kg・m	6.7	11.7	11.7	11.7	11.7	
		旋回減速機取付けボ ルトの締付けトルク	N・m	—	—	—	—	—
kg・m	—	—	—	—	—			

★印：新車基準値を表す。

SK30SR-6	SK30UR-6	SK35SR-6	SK38UR-6	SK45SR-6	SK50UR-6E	SK55SR-6E		
後方小旋回	超小旋回	後方小旋回	超小旋回	後方小旋回	超小旋回	後方小旋回		
PW15-50001~	PR09-20001~	PX16-30001~	PQ03-01001~	PH08-10001~	YJ08-20001~	PS04-10001~		
検査基準値								
150	240	150	240	150	240	150		
10	10	10	10	10	10	10		
50~60	50~60	50~60	50~60	50~60	50~60	50~60		
図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03		
14	14	24	14	14	14	10		
図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03		
10	10	10	10	10	10	10		
図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03		
6	8	6	6	6	6	6		
図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03		
6	12	6	6	6	6	6		
図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03		
50~60	50~60	50~60	50~60	50~60	50~60	50~60		
2.8±0.4	3.6±0.4	3.2±0.5	3.5±0.4	3.6±0.6	3.2±0.5	3.6±0.3		
図-04	図-04	図-04	図-04	図-04	図-04	図-04		
3.1±0.4	3.8±0.4	3.7±0.4	3.8±0.4	3.6±0.4	4.2±0.4	3.6±0.4		
1.9±0.4	4.1±0.4	2.6±0.4	4.1±0.4	2.1±0.4	4.4±0.4	2.1±0.4		
図-05	図-05	図-05	図-05	図-05	図-05	図-05		
3.1±0.4	3.9±0.4	3.6±0.4	4.2±0.4	3.2±0.4	3.7±0.4	3.2±0.4		
1.8±0.4	2.7±0.4	2.4±0.4	3.1±0.4	1.9±0.4	2.7±0.4	1.9±0.4		
図-06	図-06	図-06	図-06	図-06	図-06	図-06		
無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷		
23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0		
235	235	235	235	235	235	235		
油温 50°C	油温 50°C	油温 50°C	油温 50°C	油温 50°C	油温 50°C	油温 50°C		
Eng・Hi ⁷ 停 ^ル	Eng・Hi ⁷ 停 ^ル	Eng・Hi ⁷ 停 ^ル	Eng・Hi ⁷ 停 ^ル	Eng・Hi ⁷ 停 ^ル	Eng・Hi ⁷ 停 ^ル	Eng・Hi ⁷ 停 ^ル		
—	—	—	—	—	—	—		
114.7	114.7	114.7	114.7	114.7	114.7	114.7		
11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7		
115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	216.6	216.6		
11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	22.1	22.1		
—	—	—	—	—	—	—		

コベルコ建機

<p>走行速度 (5 回転)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ~ 60℃ ・測定姿勢 ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 ・クローラシュエを回転させ、2 回転目より数え、5 回転するまでに要する時間を測定する。(等速回転後の測定) 	 <p style="text-align: center;">図-01</p>
<p>クローラの張り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 クローラフレーム中央部におけるフレーム下面とクローラシュエ上面とのすきまを測定する。 注) ゴムクローラの場合は、“M” マークの印された継目部を上部中央にして測定すること。 	 <p style="text-align: center;">図-02</p>
<p>シリンダ自然降下量 ブーム、アーム、バケット、ドーザ、バケット先端</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン 停止 ・作動油温 50℃ ~ 60℃ ・測定姿勢 ドーザ、アームシリンダは最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、ブームフットピンとバケットピンの高さを同一にする。 ・測定姿勢を 10 分間保ち、その間に变化したロッドの長さ、及びバケット先端での変化量を測定する。 	 <p style="text-align: center;">図-03</p>

<p>ブームシリンダ速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ~ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とする。ドーザを設地させる。 ・バケットの設置位置 (最高上げ位置) から、最高上げ位置 (地上設置位置) までの所要時間を測定する。(クッション作動時間は含まない) 	 <p style="text-align: center;">図-04</p>
<p>アームシリンダ速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ~ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、アームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・アームシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。 	 <p style="text-align: center;">図-05</p>
<p>バケットシリンダ速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン 定格運転 ・作動油温 50℃ ~ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小にしてアームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・バケットシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。 	 <p style="text-align: center;">図-06</p>